

新基地建設反対名護共同センターニュース

「国会に沖縄の声を届け、実現させます」 高良参院議員 うまんちゅの会北部連合激励会で



写真上は高良参院議員、
下は照屋後援会長（左）
と稲嶺支部長



参議院議員タカラ鉄美 激励会

腹6分で団結した「オール沖縄」の勝利

赤旗記者から「たたかいの展望」聞く やんばる統一連が学習会

やんばる統一連は20日、「しんぶん赤旗」の山本眞直記者を招き「辺野古新基地反対のたたかいの展望」を聞きました。名護民商や医療生協、共産党などから22人が参加しました。山本氏はまず、1990年代の首相側近の一人から普天間移設の目的は「危険性の除去」などではなく、「米軍の本音は最新鋭基地が欲しかった」との証言をスクープした10年前の赤旗1面の記事を紹介しました。その他、辺野古新基地に関わって政府や防衛局の数々の欺瞞や隠ぺい事実を取材し、暴露した体験談をリアルに報告しました。

ある参加者は、「背筋が寒くなるような事実を聞いて、こんな不当、不法で危険な新基地は絶対造らせてはならないと改めて思った」と話していました。



高良鉄美参院議員は「国会に辺野古新基地反対などの県民の声を届けます。沖縄の歴史を全国民に知ってもらい、民主的な日本に変えたい」と決意を表明しました。

「沖縄の歴史知らせて、日本を変える」

照屋会長は、「以前、自民党を応援した私が選対本部長を務め、保守中道の「にぬふあぶし」金城徹共同代表が事務総長を務めタカラ氏を当選させた。これは各政党、労組など各団体が腹8分、腹6分で団結と統一したこと、地域の島ぐるみみなさんが大奮闘したことが勝利の要因だ。今後、高良参院議員は県民の代表として国会で奮闘し、デニー知事を支えてほしい」と述べました。

「オール沖縄」の統一、地域の奮闘が力に

命どう宝！未来をひらくうまんちゅの会北部連合支部（支部長・稲嶺進前名護市長）は19日、名護市内で参院議員タカラ鉄美激励会を開催、やんばる一帯から約180人の住民が参加しました。琉球舞踊「かぎやで風」（写真）で幕開けし、稲嶺進氏や照屋義実高良後援会長、屋良朝博衆院議員などが挨拶、デニー知事がメッセージを寄せ、若者のトークやギター演奏などがありました。

「カメジロー」第2弾に長蛇の列 “亀さんは今も人気”



上映開始前、順番待ちの観客が列をつくる桜坂劇場前↑

上映後、ユーモアを交えて舞台挨拶する佐古監督（右）と内村さん↓



元沖縄人民党委員長で元日本共産党副委員長の瀬長亀次郎氏（1907-2001）の生涯を描いたドキュメンタリー映画「米軍が最も恐れた男 カメジロー」の続編「不屈の生涯」が、全国に先駆け17日から那覇市の桜坂劇場で上映開始されました。初日にうま市の市民が貸切バスで来場するなど上映前から長蛇の列ができました。上映が終了すると会場から拍手が沸きました。佐古忠彦監督と亀次郎の次女・内村千尋さん（不屈館館長）が舞台挨拶をし、佐古氏は「前作を見た方からもっと人間カメジローが見たいと言われ、日記などを読み返して第2弾をつくった」、内村さんは「亀次郎のエピソードはまだまだある次回作も作って欲しい」と笑顔で語りました。